

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No170

新著の紹介(コーナー)

河口竜行ほか編 『シリーズ 学びとビーイング第2巻 授業づくり、授業デザインとの対話』

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

No137 (新著の紹介)

ビーイング(存在)から学びを捉える!

河口竜行・法貴孝哲・木村剛先生、安修平氏に

新著インタビュー



新著のご紹介



河口竜行・木村剛・法貴孝哲・皆川雅樹・米元洋次
(編) (2023). 授業づくり、授業デザインとの対話
(シリーズ 学びとビーイング2) りょうゆう出版
(2023年4月刊行)

- 「総合的な探究の時間」の学びとビーイング（あり方）を考える
- 生徒が「わかった」「できた」を楽しめる授業づくりを目指して
- 生徒の生き方に迫る授業づくりを目指して

ほか計27論考

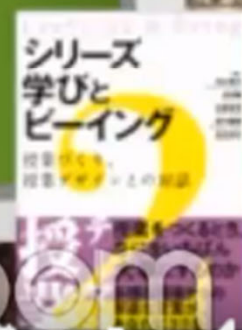
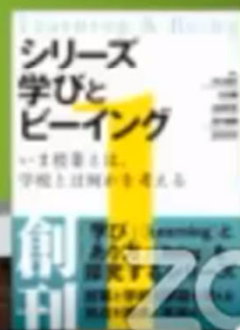
- 法貴孝哲の数学III 生徒が発見、創造する授業の向こう側へ
- 河口竜行「教員と生徒のアクティブビーイングとは
ー土台から考えるアクティブラーニング」
- 木村剛「狩猟とBeing
ー中高一貫女子校教師のダブルワーク日誌」

第2巻

学びーイングトークLIVE③

近藤哲史先生に、これまでの実践、 これからの挑戦を聴いてみる

ゲスト 近藤哲史先生 神奈川県立藤沢清流高等学校
聞き手 『シリーズ 学びとビーイング』編集委員



2023年5月18日 配信

|| p:06 / 1:11:55

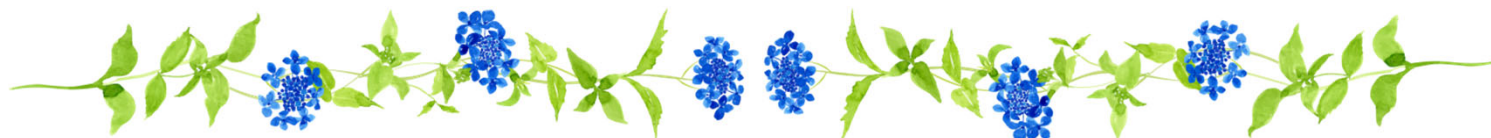
学びーイングトークライブ





安 修平
合同会社りょうゆう
出版代表社員

『シリーズ 学びとビーイング』の第2巻では「授業づくり」をテーマにしました。プログラムをつくるときに、なにをいちばん大事にするのか？ 学校や企業、NPOなど様々な立場の皆さんから今の「思い」と「実践」を寄せていただきました。読者の皆さんには、ここから何かをつかんで新しい挑戦につなげてほしいと思っています。そして、お互いの「実践」をもとに、さらに対話を続ける場をつくっていきたいと思っています。



今後の刊行予定は、次のとおりです。

- ・ 第3巻 学校内の場づくり、外とのつながる場づくり
2023年10月刊行 ※現在、進行中
- ・ 第4巻 学び続ける教師のあり方（being）とは
2024年3月刊行予定

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

